

スタート

9月議会

北九州
市議会

議会日程(予定)

- ◆本会議(開会) 9月2日(木)
- ◆本会議(質疑、一般質問) 9日(木)、10日(金)、13日(月)~15日(水)
- ◆決算特別委員会 15日(水)~17日(金)、21日(火)、22日(水) 24日(金) 市長質疑、27日(月)
- ◆本会議 28日(火)
- ◆常任委員会 29日(水)、30日(木)
- ◆本会議(閉会) 10月1日(金)

請願・陳情は9月17日(金)が締め切りです。

市民の願い実現に全力

日本共産党市議団

9月議会が2日から始まり、す。コロナ感染者が全国で2万人を突破する一方、菅自公政権は入院対象者を重症者や重症化リスクの高い人に絞り込む方針に大きく転換、全国で猛反発を招いています。重点措置が適用されていた福岡県にも、4度目となる緊急事態宣言が発出(期限は8月20日~9月12日)されました。

市民のいのちとくらしを守ることは、市政の最重要課題です。北九州市議団は、そのために全力をあげます。目前に迫った総選挙は、大きく歪んだ日本の政治をただし、野党共闘の力で政権交代を実現するチャンスです。力を合わせ、新しい政治をこの北九州から切り開きましょう。

議会を見よう

本会議や委員会の傍聴ができます。

インターネット中継、YouTube、市議会チャンネルもチェック!!



市民のいのち、くらし守ります



北九州市でもコロナ感染の広がりは歯止めがからず、8月22日までの1週間で1188人と過去最多を記録。保健所は業務多忙化、医療機関もさらにひっばくし、医療崩壊が懸念される事態となっています。

市議団は宣言発出に先立ち、8月16日、北橋健治市長に対し「感染拡大防止対策と医療体制充実を求め」る24項

目的の緊急申し入れを行いました。コロナ禍に関する申し入れは、これで13回目。

その柱は①PCR等検査の抜本的強化をはかる②安全で迅速なワクチン接種を促進する③医療崩壊を招かないために体制の抜本的強化、現場への支援を強める④感染拡大のリスクを最大限に減らすの4つ。10月に開催予定の「世界体操・新体操 北九州2021」についても、いのちを守ることが最優先として「大会中止」を組織委員会に要請するよう、市長に求めました。

対応した永富秀樹・保健福祉局長は「しっかり受け止め、対応したい」と答えました。

コロナ感染拡大で市長に緊急申し入れ

世界体操・新体操は中止を

みなさんの声を届けて質問します

大石正信 議員 (会派質疑 60分)

- コロナ対策(検査、医療)
- 2020年度決算(中小企業、公契約)
- 国保減免、「行革」、下北道路

伊藤淳一 議員 (一般質問 30分)

- 保健所の強化・増設
- 世界体操・新体操中止

山内涼成 議員 (一般質問 30分)

- 被爆2世支援
- 済生会病院移転問題

永井佑 議員 (一般質問 30分)

- 学生支援 ● 食料支援
- 市独自の奨学金支援

出口成信 議員 (一般質問 30分)

- プラゴミ問題 ● 補聴器助成
- 文化・芸術支援

高橋都 議員 (一般質問 30分)

- 門司港複合公共施設整備事業
- 区域区分見直しと災害対策

藤沢加代 議員 (一般質問 30分)

- 少人数学級の拡充
- 市立幼稚園存続 ● バス問題

ムダと浪費の下北道路はストップを



北九州、下関の両市議団は7月16日、田村貴昭衆院議員、真島省三前衆院議員、福岡、山口の両県議団とともに、下北(下関・北九州)道路の現地を視察。橋梁との接続道路について、北九州側では、多くの工場群の移転の可能性が、下関側では山と海に挟まれた2車線の道路の大幅な拡幅工事の必要性が浮上。「一体どれだけ工事費が注ぎ込まれるのか」。参加者からため息と「ムダな公共事業はストップを」の声が上がりました。

お知らせ 「市政懇談会」は、緊急事態宣言のため実施できません。ご意見はファックスやメールで市議団に寄せてください。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2021・8・25
No.563

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



これは一大事 区域区分で見直し

災害対策は？ 資産価値は？

出前講演で 怒りの声、噴出

説明内容が違おう



北九州市民の会が企画した出前講演（7月17日）

「地域での説明と今日の話がちがう。おかしい」「30000万円近い土地・家屋の資産価値が、区分見直しの発表だけで8000万円になった。どうしてくれる」。7月17日、戸畑区内で行われた北九州市建築都市局職員が説明する「区域区分の見直し」の「出前講演」。集まった54人の自治会役員や元市職員から鋭い質問や「追及」が飛び交いました。

斜面地の市街化区域を、新たな建築ができない「市街化調整区域」に変更する「区分見直し」。対象となる市内の建物数は1万8000棟で、住民は約3万5200人。災害リスクのある地域の開発抑制は全国的に進められています。北九州市のやり方は、さらに「踏み込んだ」もので重大な内容です。こ

自治会役員、元市職員、住民の発言相次ぐ

「地域での説明と今日の話がちがう。おかしい」「30000万円近い土地・家屋の資産価値が、区分見直しの発表だけで8000万円になった。どうしてくれる」。7月17日、戸畑区内で行われた北九州市建築都市局職員が説明する「区域区分の見直し」の「出前講演」。集まった54人の自治会役員や元市職員から鋭い質問や「追及」が飛び交いました。

これに続いて開かれた「北九州市民の会」主催の市民講座で、「災害に強いまちづくり」といながら、災害対策の具体的な手立てがない」「もっとみんなで情報交換や学習が必要ではないか」などの意見が出されました。

海岸や平地を大手企業に提供し発展してきた北九州市。その歴史や街づくりのあり方、行政の責任が問われています。

対象地域の全世帯に説明会を、共産党市議団 北橋市長に申し入れ



北九州市議団は8月2日、市が実施している区分見直し対象区域の「市民説明会」について、①対象地域の全世帯を対象とすること②説明会の案内チラシを全戸に配布するなど市民に周知徹底すること③参加希望者が、会場の利用人数制限等によって排除されないよう対処することの3点を申し入れました。

応じた建築都市局長は「趣旨はわかりました。市長に伝えます」と答えました。

公共施設を良くする会

子どもの安全を守れ



通学路をチェックするメンバーたち（小倉北区）

通学路 チェック **歩道、防護柵の設置は？**

下校途中の小学生が死傷した千葉県八街市でのトラック事故を受け、「安全な通学路」を求める声が広がっています。

福建労や新婦人などをつくる「北九州市の公共施設を良くする会」（「良くする会」と市議団は8月19日、歩道や防護柵の設置の有無などを中心に、市内8小学校通学路の安全点検を行いました。

参加者からは「こんな狭い道を歩いているなんて」「スピードを落とさずに走り抜ける車もいる。危ない」などの声が出されました。

「良くする会」は視察結果をまとめ、市教育委員会に改善要望を行うことにしています。

学生の声 次々に

アルバイトが減って生活が大変!!



学生らと対話する永井市議（左から2人目）

民青同盟の呼びかけで食料支援

「本当に助かります」。コロナ禍でバイト先もなくなり学生たちの暮らしを直撃。食事さえ事欠くようになっていきました。そのなかで民青同盟や地域の支援者がいっしょになって「食料支援」に取り組みました。

北九州市立大学、九州共立大学周辺の公園で取り組んだ食料支援には約300人の学生が訪れ、食料や生活用品などを手にして「助かりました」と明るい笑顔。学生の声を聞くために参加した市議にも「アルバイトが減って生活が大変」「高い学費を何とかしてほしい」「返済しなくていい奨学金をつくってほしい」などの切実な声が寄せられました。

民青同盟と共産党市議

返済不要の奨学金、再度の応援給付金を要望

民青同盟福岡県委員会と共産党市議は8月18日、コロナ禍で困っている学生に対し、返済不要の奨学金、応援給付金の再度の支給などを求め、263人分のアンケート結果とともに北橋市長に申し入れました。応じた鈴木清副市長は「何ができるか支援を考えた」と答えました。

日本共産党市議団各議員の常任委員会配置（◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員）

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎藤沢 加代	○荒川 徹	出口 成信	☆山内 涼成
		永井 佑	伊藤 淳一		